

平成28年6月14日(火) 利根川水系渇水対策連絡協議会 (事務局: 関東地方整備局)

記者発表資料

平 成 2 8 年 度 第1回利根川水系渇水対策連絡協議会 の開催結果について

1 開催状況

日 時:平成28年6月14日(火) 10:30~

場 所:さいたま新都心合同庁舎2号館14階 災害対策本部室

協議会構成:国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、

農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、

群馬県、栃木県及び独立行政法人水資源機構

協議会の目的:利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2 開催結果のポイント 別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、 東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、 栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ

				問	l	١	合	わ	っせ 先
国土交通省								住所	所 〒330-9724
関東地方整備局	河川部	ß							埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
河川環境課	いとう	かずひこ							さいたま新都心合同庁舎2号館
河川環境課長	伊藤	和鳶	(内線)	3	6 5	5 1		電話	話 (代表) 048-601-3151
建設専門官	斎藤	充則	(内線)	3	6 5	5 2			
水政課	おおた	ひるのり							
水政調整官	太田	ひろのり 浩徳 武史	(内線)	3	5 1	l 5	;		
水政課長	石川	武史	(内線)	3	5 5	5 1			
課長補佐	山本		(内線)	3	5 5	5 7			

現状と今後の対応

(1) 現状

- ・冬期の降雪は、利根川の水利用に欠かせない重要な水資源ですが、平成 27 年度は記録的な少雪となり、昭和 29 年から観測している尾瀬沼観測所の最大積雪深は 172 cmで、平均 289 cmの 60%しかなく、62 ヶ年の観測史上最低でした。
- ・春先の雪どけ水を誘発する降雨が少なく、5月の月間雨量は、栗橋地点上流域が56mmで平均118mmの48%、 佐貫地点上流域が63mmで平均の51%しかない状況でした。
- ・上流域の少雪と 5 月の少雨の影響から河川の流量が減少したため、ダムからは例年に無く早い時期からの補給が必要となりました。その結果、13 日 0 時現在の利根川上流 8 ダムの貯水量は、1 億 7,236 万㎡、貯水率 37%で 8 ダム体制となった平成 4 年以降の同日貯水量の平均に対して 45%です。これは、同日の貯水量では、過去 25 ヶ年で最低です。また、鬼怒川上流 4 ダムの貯水量は、1 億 1,536 万㎡、貯水率 46%であり 4 ダムとも既に夏期制限容量を下回っている状況です。

(2) 今後の見通し

- ・6月3日気象庁発表の「少雨に関する関東甲信地方気象情報」によると今後2週間程度は、まとまった雨の降る可能性は小さいとなっています。一方、6月9日同庁発表の気象情報(1ヶ月予報)によると、降水量は「期間のはじめは、少雨の状態が続く見込み」としながら、予報期間で見ると「平年並」の確率が高くなっています。気温は「高い」か「平年並」の確率が高くなっています。
- ・農業用水や都市用水の水利用の需要期を迎えるため、河川からの取水量が増加することが予想されます。
- ・今後、河川の流量が減少した場合、ダムに貯留した水を農業用水や都市用水等のために補給する量を 増加する必要が生じ、ダムの貯水量の減少が加速することが予想されます。

(3) 今後の対応

- ・現在、利根川では、13 日未明からの降雨によって流況が改善されていますが、今後、降雨が降り続く予報となっていないことから、この状況は一時的なものと考えられます。
- ・利根川上流8ダムの毎日の貯水量は、依然として平成4年以降の同日で見た場合に最低の状況が続いており、同様に貯水量が減少している鬼怒川上流4ダムも含め、引き続き水利使用に係わる施設のきめ細やかな運用を行っていく必要があります。

このため、現在の利根川の流量が、13 日の降雨前と同程度まで低減すると見込まれる、6 月 16 日 (木) 9 時より 10%の取水制限 (施設未完成の暫定水利は 20%の取水制限) を実施することとしました。

- ・また、10%取水制限開始後も、晴天日又は高気温の状態が続く場合には、ダムの貯水量が更に減少することが見込まれることから、利根川上流8ダムの合計貯水量が1億5,000万㎡を下回った翌日の午前9時から、20%の取水制限(施設未完成の暫定水利は30%の取水制限)に強化することとしました。なお、20%の取水制限の実施が決定した場合には、事前に公表することとします。
- ・利根川の水に係る様々な利用者に対して、節水への取り組みを促すために幅広い広報活動を実施することとします。

平成28年度 第1回利根川水系 渇水対策連絡協議会資料

利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



矢木沢ダム (平成28年6月13日撮影)

平成28年6月14日

関東地方整備局

1. 利根川上流8ダム等の現状

1) 利根川

(1) 栗橋地点上流域平均降水量の状況(平成28年6月12日までの降水量) 5月の降水量は、56mm(平均値に対する割合48%。過去6番目に少ない値)となっています。 6月の降水量は、12日までの累加で7mmとなっています。(6月の降水量の平均値は178mm) (図-1、表-1)

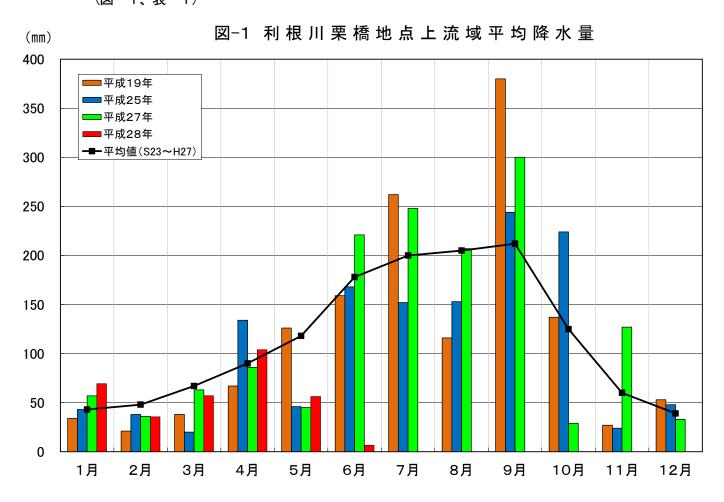


表-1 利根川栗橋地点上流域平均降水量(平成28年6月12日まで)

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1, 091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1, 413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1, 143	"
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1, 222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1, 569	利根川夏渇水
平成19年	34	21	38	67	126	159	262	116	380	137	27	53	1, 420	(少雪年)
平成24年	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1, 395	利根川夏渇水
平成25年	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1, 294	"
平成27年	57	36	63	86	45	221	248	207	300	29	127	33	1, 452	
平均値 (S23-H27)	43	48	67	90	118	178	200	205	212	125	60	39	1, 385	
平成28年	69	36	57	104	56	7							329	
平均値に対す る割合(%)	161	74	85	115	48	4							24	

^{※.} 利根川取水制限実施月(一時緩和含む)

^{※.} 栗橋上流域面積 8,588km²

(2) 利根川上流8ダムの貯水状況等(平成28年6月13日0時現在)

利根川上流8ダムのうち、5ダム(矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、薗原ダム)が、4月2 0日0時に満水となりました。その後、尾瀬沼の積雪観測所では平均に比べ1ヶ月早い消雪となり、更に5 月中旬以降の降水量の少ない状態が続き、河川の流量が減少したため、都市用水や農業用水の需要を確保す るためにダムに貯留した水を補給し、貯水量が低下してきています。

6月13日0時の貯水量は1億7, 236万m3 であり、貯水率は37%、平均値に対する割合は45%となっています。

なお、貯水量は、過去25年間(奈良俣ダムが運用を開始した平成4年以降)の同日の値と比べて、過去最低なっています。(表-2、図-2)

		1 /:	<u> </u>	1000m20th
ダム名	有効容量 (万m³)	貯水量 (万m³)	貯 水 率 (%)	前日補給量 (万m³/日)
矢木沢ダム	11, 550	1, 113	10	175
奈良俣ダム	8, 500	4, 598	54	166
藤原ダム	3, 101	1, 416	4 6	-36
相俣ダム	2, 000	568	28	7 2
薗原ダム	1, 322	183	14	-7
下久保ダム	12, 000	5, 650	4 7	220
草木ダム	5, 050	2, 789	55	106

表-2 利根川上流8ダム貯水量 平成28年6月13日0時現在

919

17, 236

37, 901

35

37

(平均値に対する割合

45%)

89

785

1. 有効容量は、常時満水容量。

渡良瀬貯水池

8ダム合計

2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。

8ダム合計の平均値

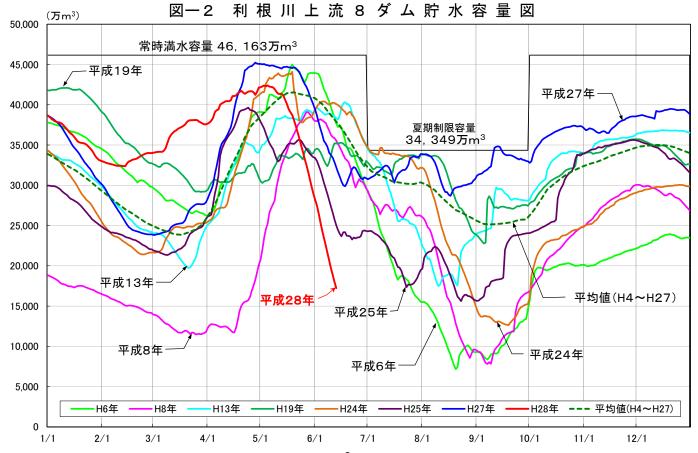
(平成4年~平成27年)

2, 640

46.

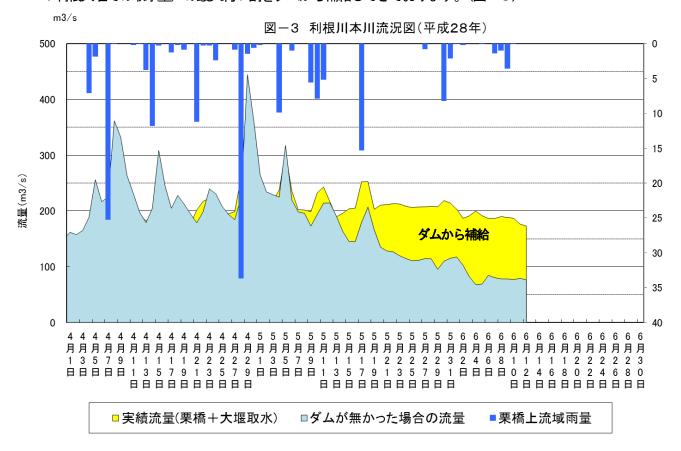
163

3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。)



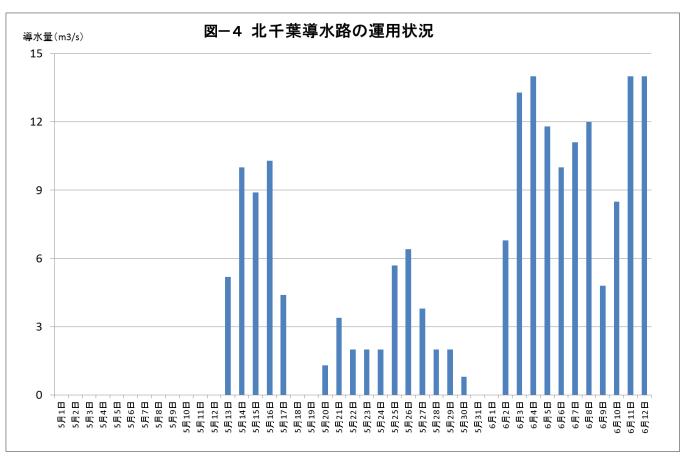
- 2 -

5月以降、1日当たり最大1, 136万m3/日をダムから補給してきており、利根川の流量(栗橋地点流量 +利根大堰での取水量)の最大約7割をダムから補給してきております。(図-3)



(3) 北千葉導水路の活用状況

北千葉導水路は5月13日より、運用を開始し、6月12日までに最大14m3/s、総量約1,650万㎡ (27日間)の導水をしています。(図-4)



2) 鬼怒川

(1) 佐貫地点上流域平均降水量の状況(平成28年6月12日までの降水量) 5月の降水量は、63mm(平均値に対する割合51%。過去6番目に少ない値)となっています。 6月の降水量は、12日までの累加で9mmとなっています。(6月の降水量の平均値は184mm)

(図-5、表-3) 図-5 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量 (mm) 650 ■平成19年 600 ■平成25年 ■平成27年 550 ■平成28年 500 → 平均値(S47~H27) 450 400 350 300 250 200 150 100 50 0 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

単位 :(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘	要
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301		
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853		
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583		
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140		
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525		
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980		
平成 19 年	31	15	21	41	122	176	298	115	471	142	18	27	1,477		
平成24年	40	47	101	111	314	276	227	109	354	113	71	75	1,838		
平成 25 年	45	35	14	147	46	171	177	172	411	301	29	66	1,614		
平成 27 年	55	67	82	68	61	204	276	201	624	28	112	47	1,825		
平均値	49	55	72	104	124	184	228	271	289	148	87	47	1,658		
(S47-H27)	40	33	12	104	124	104	220	2/1	203	140	07	47	1,000		
平成 28 年	66	35	31	109	63	9							313		
平均値に対する割合(%)	135	63	43	105	51	5							19		

表-3 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量(平成28年6月12日まで)

※. 鬼怒川佐貫上流面積 940km2

(2) 鬼怒川上流4ダムの貯水状況等(平成28年6月13日0時現在)

鬼怒川上流4ダムは、4月中旬から補給しており、貯水量が低下しています。

6月13日0時の貯水量は1億1, 539万m3 であり、貯水率46%、平均値に対する割合は82%となっています。

(表-4、図-6)

表-4 鬼怒川上流4ダム貯水量

平成28年6月13日0時現現在

ダ ム 名	有 効 容 量 (万m³)	貯 水 量 (万m³)	貯 水 率 (%)	前日補給量 (万m³/日)
五十里ダム	3, 200	635	20	11
川俣ダム	7, 310	4,563	62	96
川治ダム	7, 600	2,702	36	7 6
湯西川ダム	7, 200	3,639	5 1	3 1
4ダム合計	25, 310	11, 539	46	214
	計の平均値 :~平成27年)	14, 091		に対する割合 2%)

- 1. 有効容量は、常時満水容量。
- 2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
- 3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、 ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を 流している状況です。)

図-6 鬼怒川上流4ダム貯水容量図 30,000^{(万<u>m³)</u>} 平成27年 常時満水容量 25,310万m³ 25,000 平成25年 平均值(H25~H27) 20,000 第一期夏期 制限容量 15,140万m³ 第二期夏期 制限容量 14,180万m³ 15.000 平成24年 10,000 平成13年— 平成28年 平成6年 ・平成8年 平成13年 - 平成19年 5,000 平成8年 平成24年 一平成25年 平成6年 **一**平成28年 平成27年 --平均値(H25~H27) 0 1/1 2/1 3/1 4/1 5/1 6/1 7/1 8/1 9/1 10/1 11/1 12/1

- 5 -

3) 荒川水系

(1) 秋ヶ瀬地点上流平均降水量の状況(平成28年6月12日までの降水量) 5月の降水量は、44mm(平均値に対する割合38%。過去2番目に少ない値)となっています。 6月の降水量は、12日までの累加で7mmとなっています。(6月の降水量の平均値は165mm) (図-7、表-5)

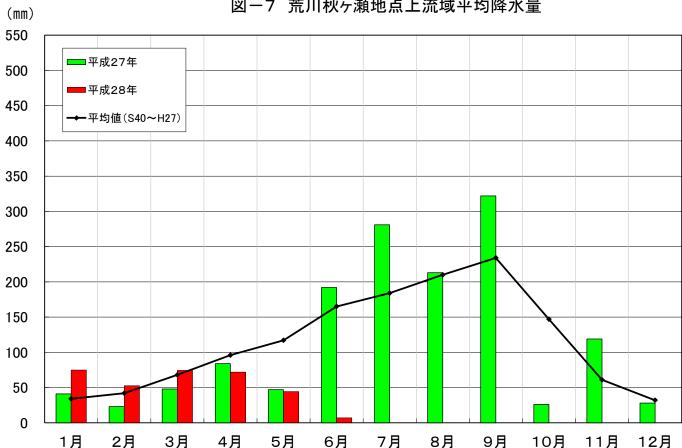


図-7 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量

表-5 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量(平成28年6月12日まで)

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	摘 要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川·荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1, 657	利根川·荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1, 355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1, 464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1, 191	利根川•荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1, 135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川·荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1, 055	利根川•荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1, 657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1, 335	利根川夏渇水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1, 249	利根川夏渇水
平成27年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1, 424	
平均値 (S40-H27)	34	42	68	96	117	165	184	210	234	147	61	32	1, 390	
平成28年	75	53	74	72	44	7							325	
平均値に対 する割合(%)	220	125	109	75	38	4							23	

荒川取水制限実施月(一時緩和含む)

^{※.} 秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km²

(2) 荒川上流4ダムの貯水状況等(平成28年6月13日0時現在)

荒川上流4ダムは、5月中旬から補給しており、貯水量が低下しています。

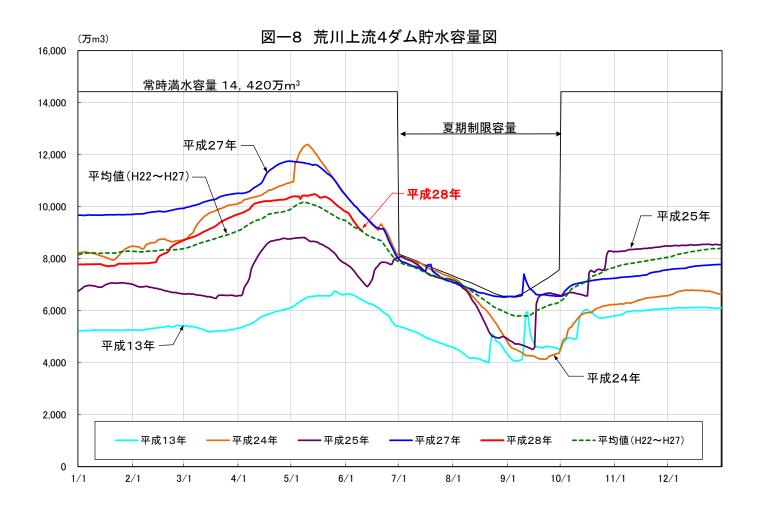
6月13日0時の貯水量は8,905万㎡ であり、貯水率62%、平均値に対する割合は100%となっています。

(表-6、図-8)

表-6 荒川上流4ダム貯水量 平成28年6月13日0時現在

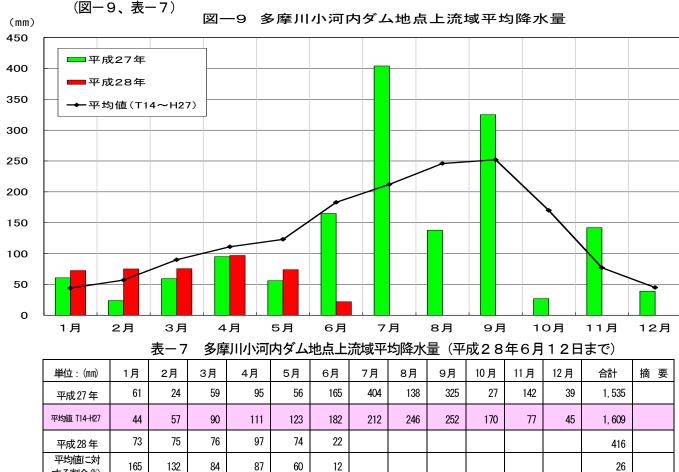
		1777 - 1	ол, годо	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
ダ ム 名	有効容量 (万m³)	貯水量 (万m³)	貯 水 率 (%)	前日補給量 (万m³/日)
二瀬ダム	2, 000	1, 426	7 1	2 4
滝沢ダム	5, 800	3, 481	60	29
浦山ダム	5, 600	3, 608	6 4	4
荒川貯水池	1, 020	390	38	-1
4ダム合計	14, 420	8,905	62	56
	十の平均値 ~平成27年)	8, 904	(平均値に 100	対する割合 0%)

- 1. 有効容量は、常時満水容量。
- 2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
- 3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。)



4) 多摩川水系

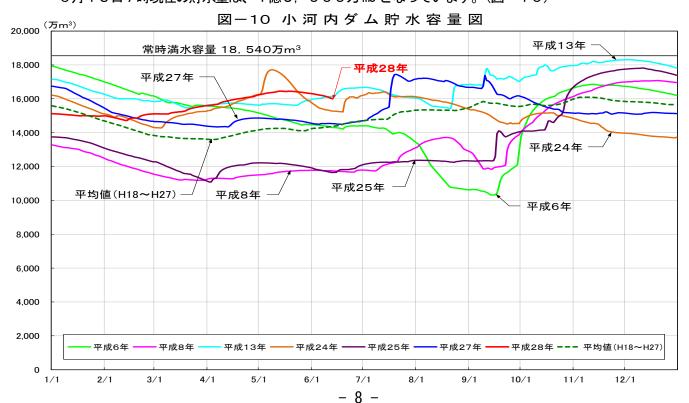
(1) 小河内ダム地点上流域平均降水量の状況(平成28年6月12日までの降水量) 5月の降水量は、74mm(平均値に対する割合60%)となっています。 6月の降水量は、12日までの累加で22mmとなっています。(6月の降水量の平均値は182mm)



(2) 小河内ダムの貯水状況

する割合(%)

6月13日7時現在の貯水量は、1億5, 999万m3となっています。(図-10)



2. 今後の見通し

(1) 見通し

平成28年6月9日発表の気象庁の1か月予報によると、6月11日から7月10日の関東甲信地方の降水量 については「平年並」となっており、「特に注意を要する事項」として、期間のはじめは、少雨の状態が続 く見込みとなっています。

また、6月3日発表の少雨に関する関東甲信地方気象情報第1号によると、今後2週間程度も、まとまった雨 の降る可能性は小さく、雨の少ない状態が続く見込みとなっています。

1か月予報(平成28年6月9日発表)

温】 関東甲信地方 【気 【降水量】関東甲信地方 【日照時間】 関東甲信地方

20	40	40
30	40	30
30	40	30

凡例:

低い(少ない) 平年並



高い(多い)

<特に注意を要する事項>

期間のはじめは、少雨の状態が続く見込みです。

少雨に関する関東甲信地方気象情報第1号(平成28年6月3日発表)

関東甲信地方では、5月上旬から降水量の少ない状態が続いています。こ の状態は、今後2週間程度は続く見込みです。農作物や水の管理等に十分に 注意してください。

(本文)

関東甲信地方では、5月上旬から、高気圧に覆われて晴れる日が多く、降 水量の少ない状態が続いています。5月1日から6月2日までの各地の降水 量は、平年の50パーセント未満と平年を大きく下回っているところがあり ます。

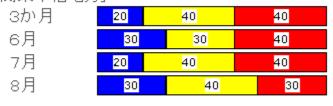
今後2週間程度も、まとまった雨の降る可能性は小さく、雨の少ない状態 が続く見込みです。

農作物や水の管理等に十分に注意してください。

3か月予報(平成28年5月25日発表)

【降水量】

[関東甲信地方]

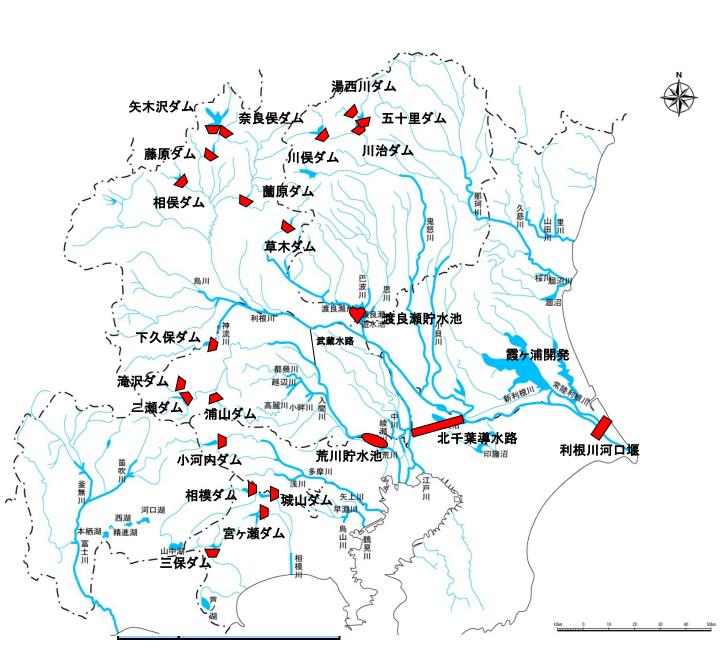


凡例:

低い(少ない) 平年並

高い(多い)

関東地方の主要な河川と水資源開発施設



貯水池の状況



矢木沢ダム



藤原ダム



奈良俣ダム



相俣ダム

貯水池の状況



薗原ダム



草木ダム



下久保ダム



渡良瀬貯水池

